

令和4年6月20日 15時

高校生の就職試験での不適切な質問について（令和3年度卒業生分）

1 内容

高校生が就職に当たり、本人の適性と能力以外の要素を考慮して採否が決定されることがないように、関係機関が協力して公正な採用選考の徹底と確保を図るため、就職試験受験後に生徒から提出される「就職試験受験報告書」により就職試験面接時での不適切な質問等の確認を行っています。

今回、令和3年度卒業生の就職試験の内容について次のとおりまとめました。

不適切な質問等があった事業所等にはハローワークの職員が訪問し、事実確認、指導を行っています。

2 受験の状況と不適切な質問の件数・事業所等の数

項目	令和2年度	令和3年度
受験者延べ人数	1,875人	1,752人
受験事業所等の数	854所	789所
不適切な質問の延べ件数	27件	35件
不適切な質問等を行った事業所等の数	21所	28所

3 不適切な質問の内訳（厚生労働省が示している「就職差別につながるおそれがある14事項」）

項目	令和2年度	令和3年度
家族の構成等	12件	14件
家族の職業等	7件	3件
住所・環境等	1件	7件
尊敬する人物・愛読書	7件	11件

そのほか、病歴を問う「健康調査票」の提出が2件、「不適切な作文の題名」が2件ありました。

【参考】不適切な質問の例（石川県商工労働部労働企画課発行「公正な採用選考ハンドブック」から）

- ・何人兄弟（姉妹）ですか
- ・あなたのお父さん（お母さん）は、どこの会社に勤めていますか
- ・〇〇町のどの辺ですか
- ・尊敬する人物を教えてください
- ・あなたは、どんな本を愛読していますか

※質問してはいけない理由

- ・家族のことに関する質問は応募者本人に責任のない事柄
- ・住所・環境等に関する質問は、身元調査につながるおそれがある
- ・尊敬する人物・愛読書に関する事は、本来、自由であるべきもの